

令和〇年〇月〇日

〇〇病院小児科 〇〇 〇〇先生

「原因不明の小児急性肝炎に関する第2回全国実態調査
および病原体検索の研究」への協力をお願い

日本小児科学会 会長 滝田 順子
日本小児科学会予防接種・感染症対策委員会
原因不明の小児急性肝炎対策ワーキンググループ委員長 細矢 光亮

「原因不明の小児急性肝炎に関する全国実態調査」におきましては、ご協力を頂き誠に有り難うございます。現在、調査結果の解析を進めているところです。

日本小児科学会予防接種・感染症対策委員会の原因不明の小児急性肝炎対策ワーキンググループでは、「原因不明の小児急性肝炎に関する全国実態調査」の対象期間である2017年1月1日～2022年6月30日以降の、**2022年7月1日～2027年3月31日を対象期間**とする「原因不明の小児急性肝炎に関する第2回全国実態調査および病原体検索の研究」を行うことと致しました。既に、日本小児科学会ホームページや日本小児科学会雑誌にて本研究への協力をお願いをしておりますが、「原因不明の小児急性肝炎に関する全国実態調査（一次調査）」で二次調査への協力に「可」とご回答いただいた先生方に、改めて本研究への協力をお願いを致したく、説明文書ならびに同意書、説明文書、同意書（アセント文書）、臨床情報調査票、「原因不明の小児急性肝障害を診療する際の対応指針」、調査協力依頼、臨床情報調査票送付と臨床検体送付の手順、同意撤回書および返信用レターパックをお送りさせていただきます。

この調査では、**2022年7月1日～2027年3月31日までの期間**に入院し、下記の定義を満たした症例を対象とし、臨床情報の収集および病原体検索のための検体収集を目的としています。なお、【登録症例の定義】にありますように、アデノウイルス、新型コロナウイルスが検出されている、もしくは、先行感染として考えられる急性肝炎は対象に含みません。

誠に恐縮に存じますが、貴施設の倫理委員会での審査手続きを始めていただき、既に対象症例があり臨床情報の提供に同意いただける場合、および残余検体（全血・血清、便、肝組織など）がある場合は、日本小児科学会 HP 上の「原因不明の小児急性肝炎の担当医師登録窓口（http://www.jpeds.or.jp/modules/activity/index.php?content_id=438）」よりご登録ください。または、①担当医師名、②施設名、③診療科名、④住所、⑤メールアドレスを記載し、直接、日本小児科学会事務局（jps_wakuchin@jpeds.or.jp）に E-mail で登録を依頼いただいても構いません。

何卒よろしくお願い申し上げます。

【登録症例の定義：次の4項目をすべて満たす原因不明の急性肝炎*】

- ① 16歳以下
- ② 入院症例
- ③ ASTあるいはALT 500 U/Lを超える
- ④ A～E型肝炎が否定される

* 明らかに薬剤性肝炎、血液腫瘍性疾患、代謝性疾患、循環器疾患によるもので、「原因不明の急性肝炎」から除外できるものは調査対象に含めない。アデノウイルス、SARS-CoV-2 が検出されている急性肝炎は含む。